

「写真の鬼」とも呼ばれた土門拳(1909~1990)は、戦前から報道写真家として活躍し『文楽』『ヒロシマ』『筑豊のこもたち』など、日本の伝統文化から社会性の高いテーマにおいて「リアリズム写真」を追求し続けた戦後日本を代表する写真家です。とりわけ『古寺巡礼』シリーズは土門拳がライフワークとして長年取り組んだ作品であり、著名なシリーズのひとつです。

土門は『古寺巡礼』シリーズについて「ひとりの日本人の、みずから出自する民族と文化への再確認の書として、愛惜の書として、世に残すことができた。日本人たる写真家として、その使命を全うできたのは、仕合せなのである」と記し、独自の美意識で選んだ日本美術史とも言うべき、珠玉の写真作品を完成させた。

昭和14(1939)年暮れに初めて室生寺を訪れ、一木造の「弘仁仏」に心惹かれて以来、昭和43(1968)年に脳出血で倒れたのもその撮影意欲は衰えることなく、車椅子で全国各地の古寺巡りを敢行。建築や仏像の細部をクローズアップした写真は、造形に捉われず「仏像の精神をまっとうに追求する」土門の、被写体に対し、本質をえぐりだそうとする執念ともいえるべき気迫がうかがえます。

本展は、没後25年の節目にあたり開催する展覧会であり、『古寺巡礼』シリーズの写真作品約170点に加え、土門が『古寺巡礼』撮影時に実際に使用したカメラなど当時の貴重な資料も展示します。被写体に肉薄しつづけた土門の世界に迫るまたとない機会です。

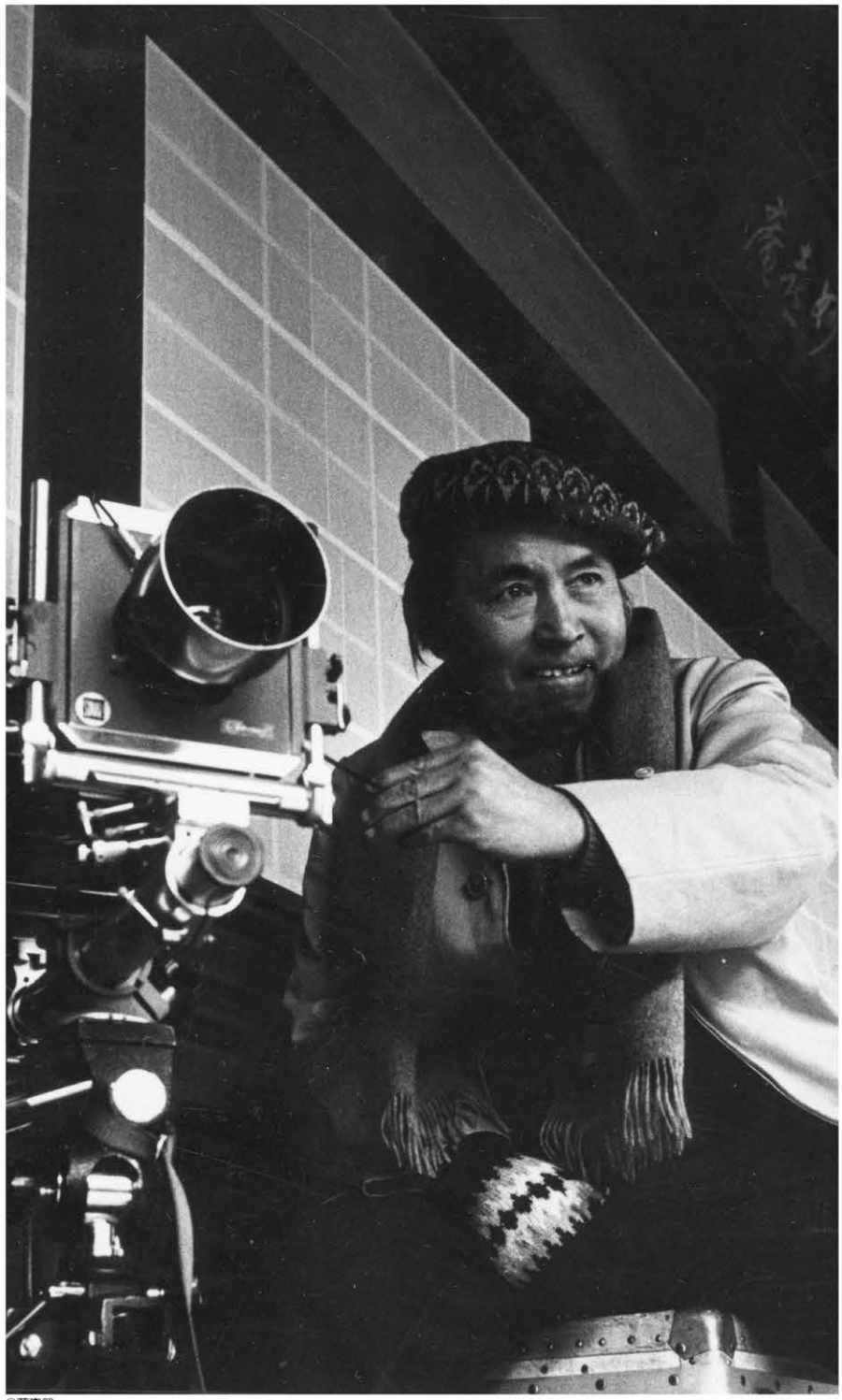
写真界の巨匠 没後25年

土門拳の古寺巡礼

病を乗り越え成し遂げた不屈の写真家

土門拳(ごもんけん/1909~1990)

戦後日本を代表する写真家。1909年山形県酒田市に生まれる。東京の宮内幸太郎写真場で修行後、日本工房に入社。1939年美術史家・水澤澄夫の案内で初めて室生寺を訪れ、平安初期の仏像「弘仁仏」に強く惹かれる。戦後はフリーランスとなり、1950年代にはリアリズム写真論を展開、写真界に旋風を巻き起こした。1960年脳出血で倒れた後遺症で35mmカメラが自在に操作できなくなると、大型カメラで撮影を敢行。1968年再び倒れるが再起し、車椅子で撮影を続行。13年間で『古寺巡礼』全五集刊行へと結実した。1979年脳血栓で倒れ、11年の昏睡状態となり1990年80歳で永眠。1981年土門拳賞が創設され、1983年には酒田市に土門拳記念館が開館。芸術選奨文部大臣賞、菊池寛賞、紫綬褒章など受賞、受章多数。



©藤森武

関連イベント



オープニング記念講演会 土門の撮影助手・藤森武氏が語る 「土門拳と古寺巡礼」

「古寺巡礼」第一集後半から第五集完成まで、すべての撮影助手を務めた藤森武氏に、当時の撮影秘話や師匠・土門拳の逸話について語っていただきます。

- ◆講師：藤森武(写真家/土門拳記念館理事(学芸員))
- ①日時：8月8日(土) 14時~15時30分 ◆会場：九州芸文館 教室工房3・4 ◆定員：80名(先着順、申込不要) ◆参加無料(ただし本館観覧券もしくは半券の提示が必要です)
- ②日時：8月9日(日) 14時~15時30分 ◆会場：福岡県立図書館本館地下1F レクチャールーム福岡市東区箱崎1-41-12 ◆定員：100名(先着順、申込不要) ◆参加無料(ただし本館観覧券もしくは半券の提示が必要です)
- ◆参加無料(ただし本館観覧券もしくは半券の提示が必要です)
- ※当日は観覧券の提示は利用できません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

- ### ミュージアム・コンサート クラシック巡礼―重厚なる低弦の響き―
- ◆出演：チエロ/田中雅弘(菊池知也、市見也、コントラバス)、チェンミン
 - ◆日時：8月16日(日) 第1部13時30分、第2部15時、各回約30分
 - ◆会場：九州芸文館 エントランス ◆参加無料、申込不要、先着順
 - ◆主催：公財)フクロソ福岡

- ### 専門家に学ぶ!レクチャー1 「仏像のみかた」
- 仏像の見かたをわかりやすく紹介していただきます。
- ◆講師：井形進(九州歴史資料館) ◆日時：8月30日(日) 14時~15時30分
 - ◆会場：九州芸文館 教室工房3・4 ◆定員：80名(先着順、申込不要) ◆参加無料

- ### 専門家に学ぶ!レクチャー2 「筑後地域の古寺と仏像」
- 筑後地域の古寺と仏像の特徴から地域文化の面白さを紹介していただきます。
- ◆講師：國生知子(福岡県文化財保護課) ◆日時：9月6日(日) 14時~15時30分
 - ◆会場：九州芸文館 教室工房3・4 ◆定員：80名(先着順、申込不要) ◆参加無料



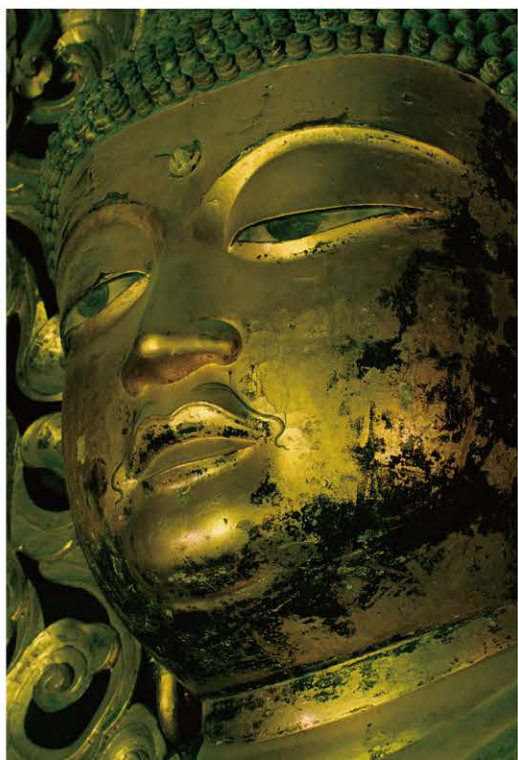
トークイベント みうらじゅんトークショー 「マイ土門拳 & マイ仏像」

みうらじゅんのマイブームである「土門拳」と「仏像の魅力、MJ(みうらじゅん)の楽しみ方を独自の視点から語っていただきます!

- ◆講師：みうらじゅん(イラストレーター)
- ◆日時：9月12日(土) 14時~15時 ◆会場：九州芸文館 教室工房3・4 ◆定員：80名(要申込、応募多数の場合は抽選) ◆参加費：1,000円
- ◆申し込み方法：往復はがきにて受け付けます。
- ◆往復はがき：〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131 九州芸文館「みうらじゅんトークショー」宛
- ◆往復はがき：〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131 九州芸文館「みうらじゅんトークショー」宛
- ◆申し込み締め切り：8月28日(金) 消印有効
- ◆申し込み方法：往復はがきにて受け付けます。
- ◆往復はがき：〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131 九州芸文館「みうらじゅんトークショー」宛
- ◆申し込み締め切り：8月28日(金) 消印有効
- ◆申し込み方法：往復はがきにて受け付けます。
- ◆往復はがき：〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131 九州芸文館「みうらじゅんトークショー」宛

- ### ちくく巡礼撮影ツアー
- 筑後地域の古刹・清水寺を訪ね、講師指導のもと建築や仏像(石仏)、風景などの撮影を行います。
- ◆講師：久我敬博(久留米連文写真部員、福岡県美術協会会員)
 - ◆日時：9月13日(日) 9時30分~16時(予定) ◆参加費：1,500円
 - ◆集合・解散：九州芸文館 撮影地：清水寺(福岡県みやま市) ◆本館開館後
 - ◆定員：35名(先着順、要申込) ◆参加費：大人/3,500円、高校生以下/1,500円
 - ◆申し込み方法：電話九州芸文館 0942-526435もしくはホームページ(申込フォーム)より応募してください。
 - ◆申し込み締め切り：9月6日(日)
 - ◆申し込み方法：電話九州芸文館 0942-526435もしくはホームページ(申込フォーム)より応募してください。
 - ◆申し込み締め切り：9月6日(日)

- ### 学芸員によるギャラリートーク
- 学芸員が展覧会の鑑賞ポイントをお話しします。
- ◆日時：8月22日(土) 9月19日(土) 14時~14時45分
 - ◆場所：展覧会場 ◆申込不要 参加無料(ただし観覧券が必要です)
- 最新情報は館内入口ホームページ本展のpage2005にて



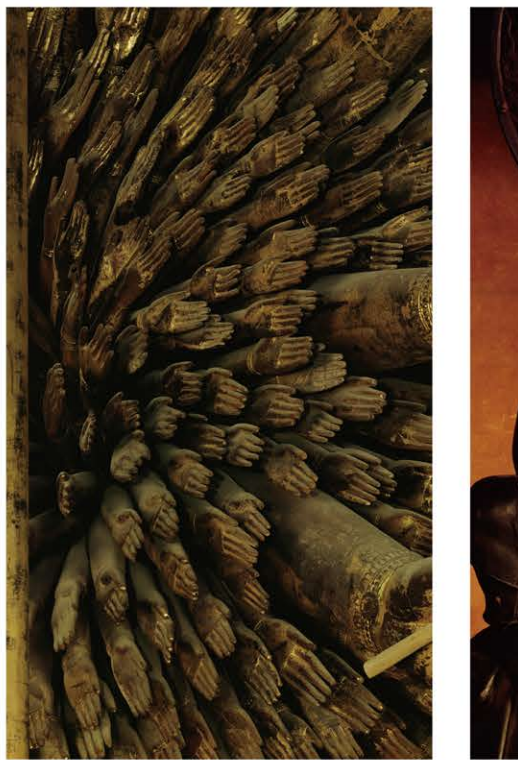
【平野院鳳凰堂 阿弥陀如来坐像面相】1966年



【室生寺金堂 薬師如来立像(伝釈迦如来)】1966年頃



【浄瑠璃寺本堂 吉祥天立像面相】1965年



【唐招提寺金堂 千手観音立像左脇千手詳細(部分)】1963年



【中念寺 観音菩薩半面像(部分)】1961年



【室生寺雲の龍安金堂見上げ】1978年



【三十三間堂内陣 千体千手観音立像群正面】1962年



【平野院鳳凰堂夕焼け】1961年

土門拳の貴重な資料も展示します

画家を志していた
中学3年生の時に描いた絵画作品

「古寺巡礼」撮影時に実際に
使用したカメラ(ジナー製)

撮影時のメモ帳(なんでも帳)

直筆の書

土門拳の古寺巡礼

2015年8月8日(土)~9月23日(水・祝)

【開催時間】10時~17時(入場は16時30分まで)
【休館日】月曜日(ただし9月21日(月・祝)は開館)

【主催】九州芸文館美術展実行委員会 【共催】西日本新聞社、TVQ九州放送 【特別協力】公益財団法人土門拳記念館 【企画協力】株式会社クレブリス

【入場料】一般 700円(500円)、高大生 500円(300円)、小中生 300円(100円)
※()内は20名以上の団体料金 ※65歳以上の方は特別料金(500円) ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方およびその介助者は無料

交通案内

- 【JR利用】九州新幹線「筑後船小屋」下車、徒歩約1分/JR鹿児島本線「筑後船小屋」下車、徒歩約1分
- 【バス利用】西鉄バス50番(久留米-高良台-羽犬塚-船小屋)系統「筑後船小屋駅前」バス停下車、徒歩約1分
- 【高速道利用】九州自動車道「八女IC」から約10分、「みやま柳川IC」から約15分
- 【駐車場】103台(2時間まで無料/以降1時間100円)

九州芸文館
KYUSHU GEIBUN-KAN

〒833-0015
福岡県筑後市大字津島1131
TEL:0942-52-6435
http://www.kyushu-geibun.jp

筑後巡礼 — 筑後地域の神社・仏閣案内

少し足を伸ばして筑後の神社・仏閣を巡ってみませんか。筑後地域の歴史ある寺社の建築や個性的な仏像に出会えます。筑後の神社・仏閣情報を一部ご紹介します。



筑後市 **水田天満宮・恋木神社**
水田天満宮の本殿建築や石造鳥居は県指定有形文化財。境内には日本で唯一「恋の神様」を祀っている恋木神社もあります。
◆住所：福岡県筑後市水田62番地-1 ◆問い合わせ：TEL 0942-53-8625
◆時間：9時～17時（※状況により変更あり） ◆年中無休 ◆拝観無料
◆交通案内：[JR]「羽犬塚」下車、徒歩約20分 【車】九州自動車道「八女IC」から約10分
◆駐車場：100台（無料）



八女市 **谷川寺**
仁王門には鎌倉時代に行基が制作したといわれる、ずんぐりとして個性的な仁王像が観みをきかせています。
◆住所：福岡県八女市立花町谷川565 ◆問い合わせ：TEL 090-4983-9092
◆時間：参拝自由 ◆年中無休 ◆拝観無料
◆交通案内：[堀川バス]「兼松三ツ角」バス停下車、徒歩約10分
【車】九州自動車道「八女IC」から約30分
◆駐車場：なし



みやま市 **清水寺**
自然の中に本堂をはじめ、五百羅漢、仁王門、三重塔（県指定有形文化財）、本坊庭園などがあり、ゆったりと散策できます。
◆住所：福岡県みやま市瀬高町本吉1119-1 ◆問い合わせ：（寺務所）TEL 0944-63-7625
◆時間：9時～17時（庭園のみ） ◆月曜日[祝日・11月中除く]、毎月18日休み（庭園のみ）
◆庭園のみ入場料：大人300円
◆交通案内：[JR]鹿兒島本線「瀬高」下車、車で約10分
【車】九州自動車道「みやま柳川IC」から約4分
◆駐車場：約150台（無料）



柳川市 **福厳寺**
旧柳川藩主立花家の菩提寺で黄檗宗の寺院。江戸時代に建立された珍しい建築や天王殿の仏像（韋駄天像、四天王像）は必見です。
◆住所：福岡県柳川市奥州町32-1 ◆問い合わせ：TEL 0944-74-0033
◆時間：9時～17時 ◆年中無休 ◆拝観無料
◆交通案内：[西鉄バス]「布橋」下車、徒歩約3分
【車】九州自動車道「みやま柳川IC」から約20分
◆駐車場：あり（無料）



久留米市 **高良大社**
神社建築として九州最大級の社殿は江戸時代初期の権現造（重要文化財）。筑後地域を一望できる展望台や宝物殿もあります。
◆住所：福岡県久留米市御井町1番地 ◆問い合わせ：TEL 0942-43-4893
◆時間：6時～17時 ◆年中無休 ◆拝観無料
◆交通案内：[西鉄バス]1番または8番系統「御井町」下車、徒歩約30分
【車】九州自動車道「久留米IC」から約15分
◆駐車場：約350台（無料）

土門が撮影した九州の仏像



福岡県 太宰府市 **観世音寺 木造大黒天立像**
宝蔵には木造空襲観音立像（重要文化財）はじめ、平安初期から鎌倉時代にかけて造られたとされる仏像16体を収蔵。
土門が撮影した木造大黒天立像（重要文化財）も見られます。
◆住所：福岡県太宰府市観世音寺5丁目6-1
◆問い合わせ：（宝蔵内）TEL 092-922-1811
◆時間：9時～17時（入場は16時30分まで） ◆年中無休
◆宝蔵のみ拝観料：大人500円、高大生300円、小中生150円
※20名以上から団体割引あり
◆交通案内：[西鉄電車]「西鉄五条」下車、徒歩約15分
【車】九州自動車道「太宰府IC」から約10分
◆駐車場：約20台（無料）



土門拳撮影
「観世音寺 大黒天立像」
1943年



大分県 臼杵市 **国宝白杵石仏群古園 大日如来像**
白杵石仏は4群60余体にもおよぶ、日本を代表する石仏群です。7～8月は石仏公園のハスの花も見頃です。
◆住所：大分県臼杵市大字深田804-1
◆問い合わせ：（白杵石仏事務所）TEL 0972-65-3300
◆時間：6時～18時（※ただし4～9月延長あり） ◆年中無休
◆拝観料：大人（高校生以上）540円、小人（小中学生）260円
※30名以上から団体割引あり
◆交通案内：[JR]九州日豊本線「臼杵」下車、車で約20分
【車】大分自動車道「臼杵IC」から約5分
◆駐車場：あり（無料）



土門拳撮影
「白杵石仏群 古園大日如来坐像左半面相」
1962年



土門拳記念館
1983年土門拳の郷里である酒田市に日本最初の写真美術館として開館。土門拳の全作品約7万点を収蔵・保存し、順次公開しています。
◆開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）
◆休館日：4～11月無休（※ただし展示替えのため臨時休館あり）年末年始
12月～3月毎週月曜日（※ただし月曜日の場合は開館、翌火曜日休館）
◆入館料：一般430円（370円）、高大生210円（160円）、中学生以下 無料
※（ ）内は20名以上の団体料金 ※特別展期間中は料金に変更になる場合があります。
◆交通案内：[飛行機]庄内空港からタクシーで約20分、バスで約30分
[JR]「酒田」下車、タクシーで約10分
【車】日本海東北自動車道「酒田IC」から約5分（飯森山公園内駐車場あり）
◆住所：山形県酒田市飯森山2-13（飯森山公園内）
TEL・FAX 0234-31-0028 <http://www.domonken-kinokan.jp/>

展覧会
「戦後70年特別企画 土門拳が視た昭和」2015年7月15日（水）～9月28日（月）



「中宮寺 観音菩薩半跏像（部分）」1943年

DOMON Ken | A Pilgrimage to Ancient Temples

写真界の巨匠 没後25年

2015年
8月8日（土）～9月23日（水祝）（会場）九州芸文館

開場時間：10時～17時（入場は16時30分まで）
休館日：月曜日（ただし9月21日月祝は開館）

九州芸文館
KYUSHU GEIBUN-KAN

写真界の巨匠 没後25年

2015年
8月8日（土）～9月23日（水祝）（会場）九州芸文館

開場時間：10時～17時（入場は16時30分まで）
休館日：月曜日（ただし9月21日月祝は開館）

九州芸文館
KYUSHU GEIBUN-KAN



「薬師寺東院堂 観音菩薩立像（聖観音）頭部（部分）」1962年

DOMON Ken | A Pilgrimage to Ancient Temples